2015年3月期
第２四半期決算説明会

2014年11月25日

「光と電波」情報通信・デジタル家電を支える

株式会社 昭和真空

証券コード：6384　　東証JASDAQ

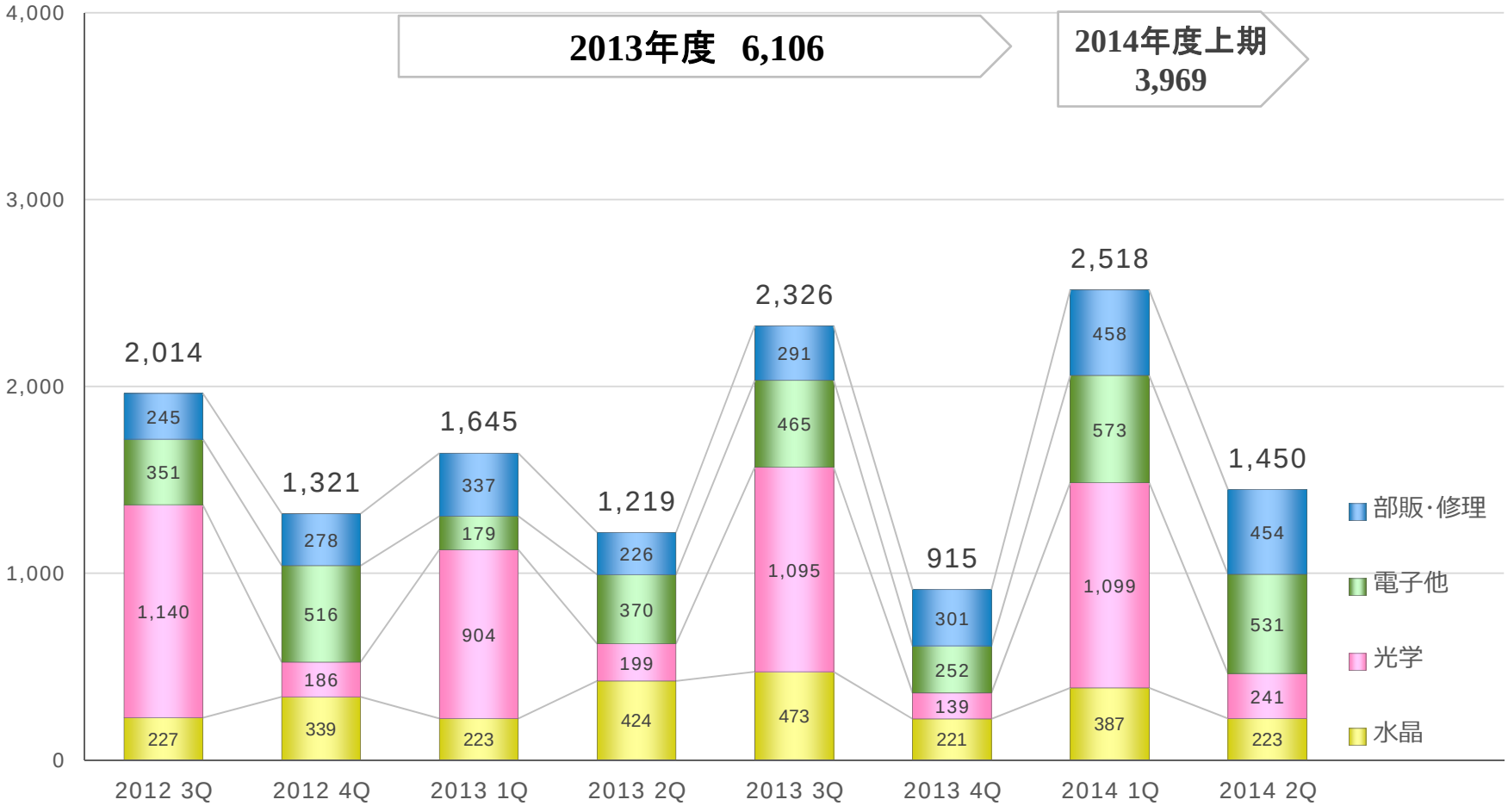
第２四半期決算概況

第２四半期経営成績の概況 （連結）

（百万円）	2013年度		2014年度			
	２ Ｑ 実 績		２ Ｑ 実 績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受 注 高	2,864	―	3,969	―	1,104	38.6%
売 上 高	2,321	100.0%	3,581	100.0%	1,259	54.2%
売上総利益	324	14.0%	760	21.3%	436	134.3%
販 管 費	587	25.3%	667	18.6%	80	13.7%
営 業 利 益	▲262	▲11.3%	93	2.6%	―	―
経 常 利 益	▲230	▲9.9%	68	1.9%	―	―
当期純利益	▲333	▲14.4%	68	1.9%	―	―

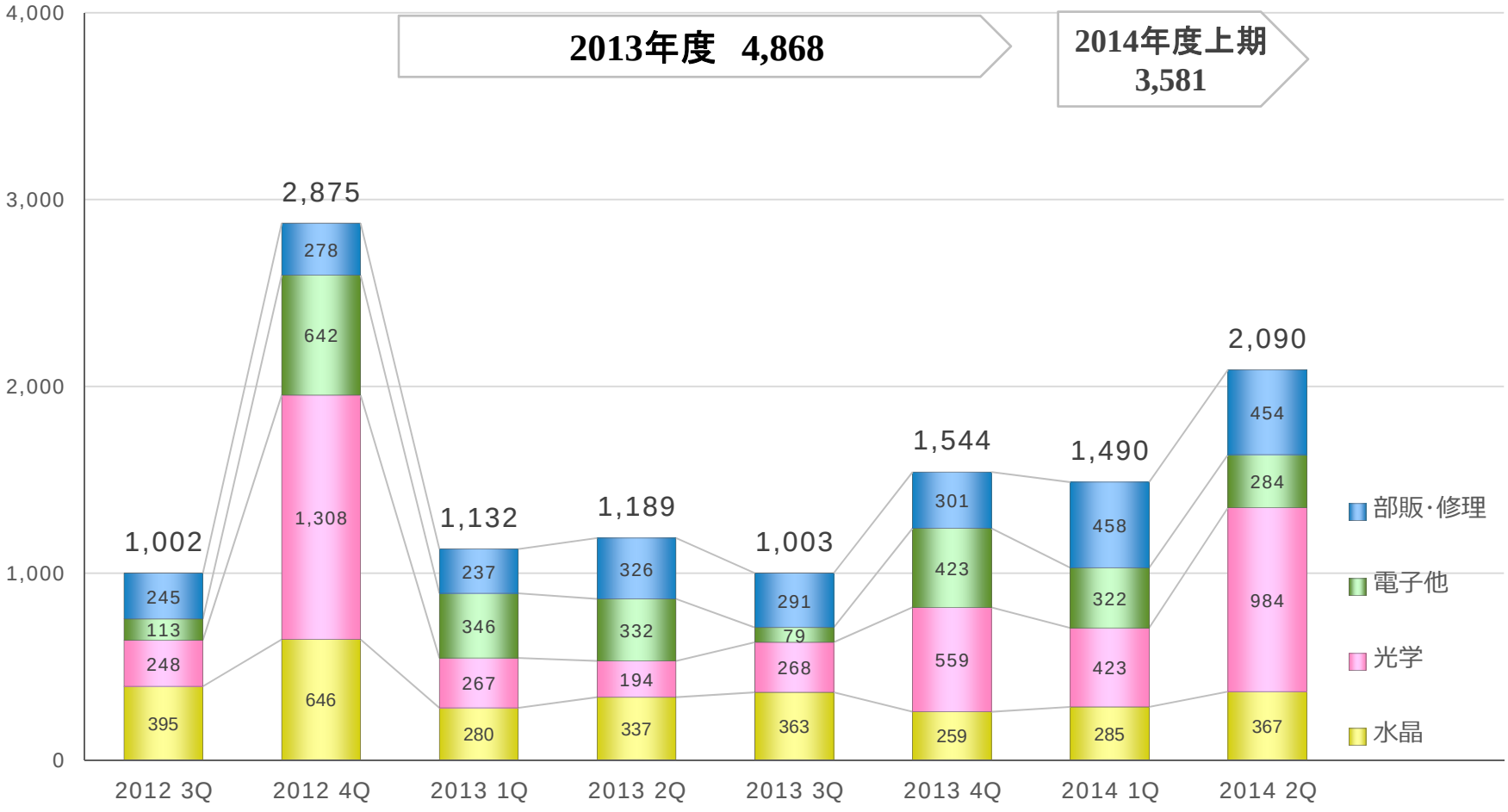
受注高品目別推移 （四半期、連結）

（単位：百万円）



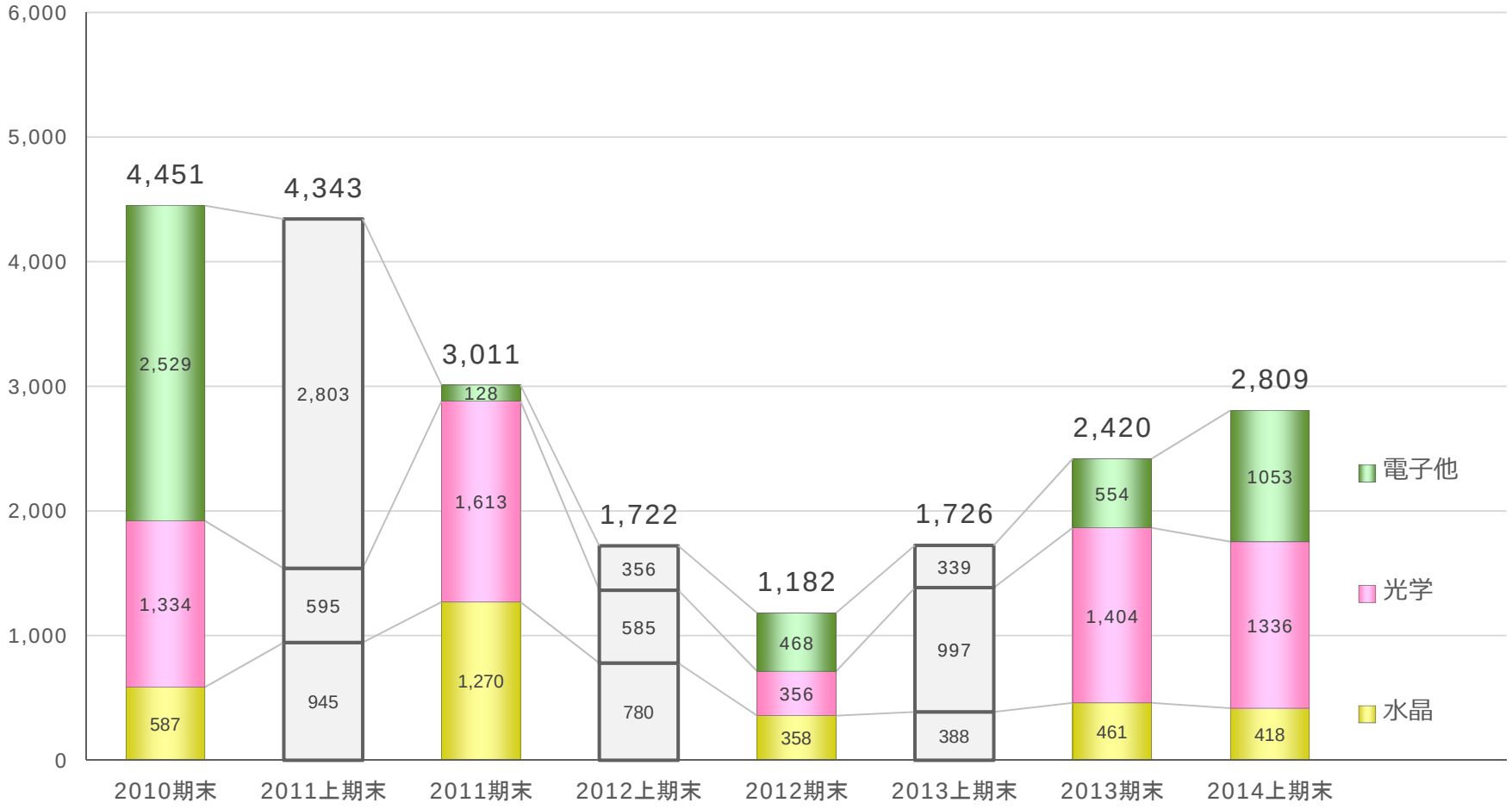
売上高品目別推移 （四半期、連結）

（単位：百万円）



受注残品目別推移 （連結）

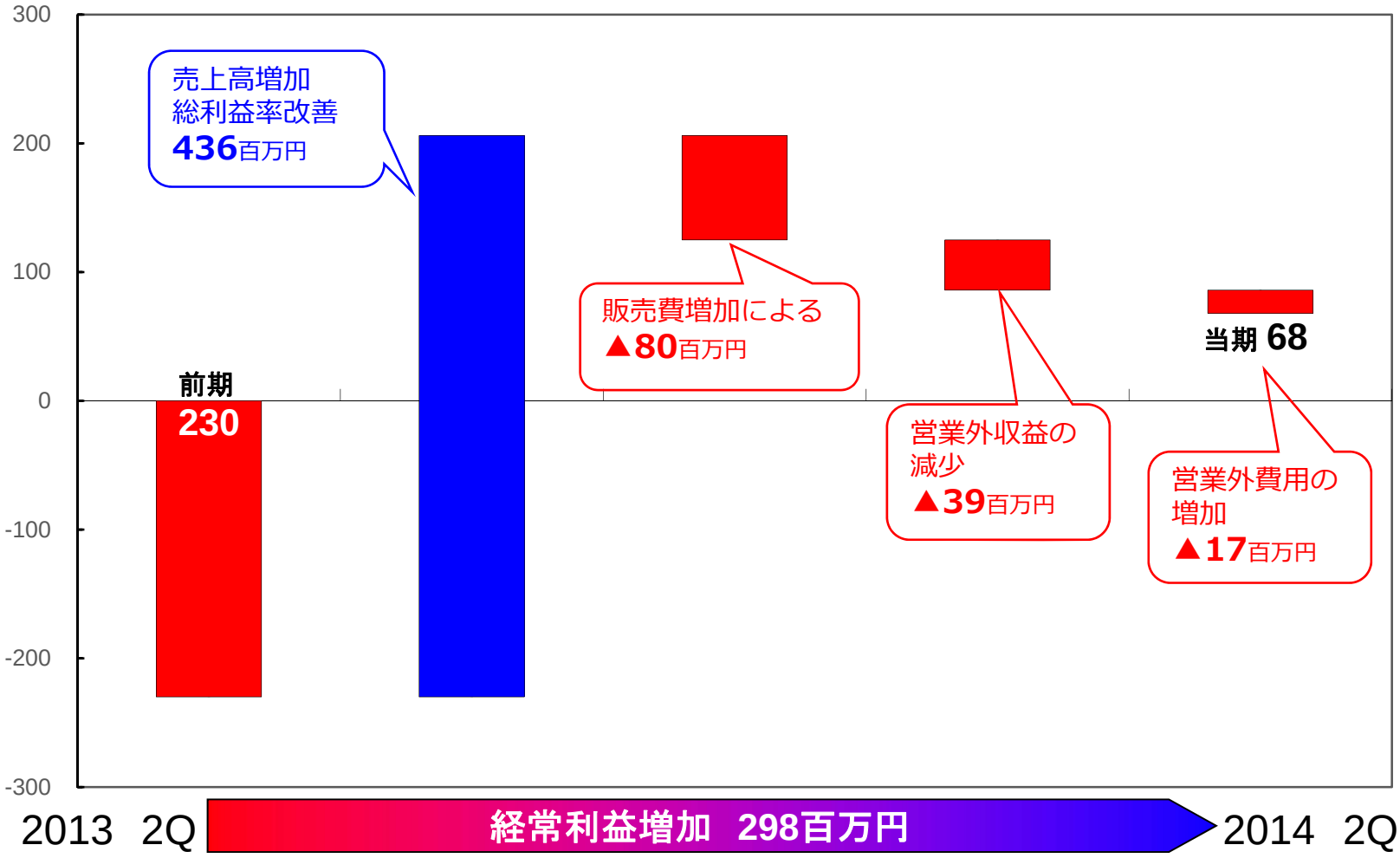
（単位：百万円）



2011年度期末に太陽光発電関連の受注額を電子・その他装置より控除しております。

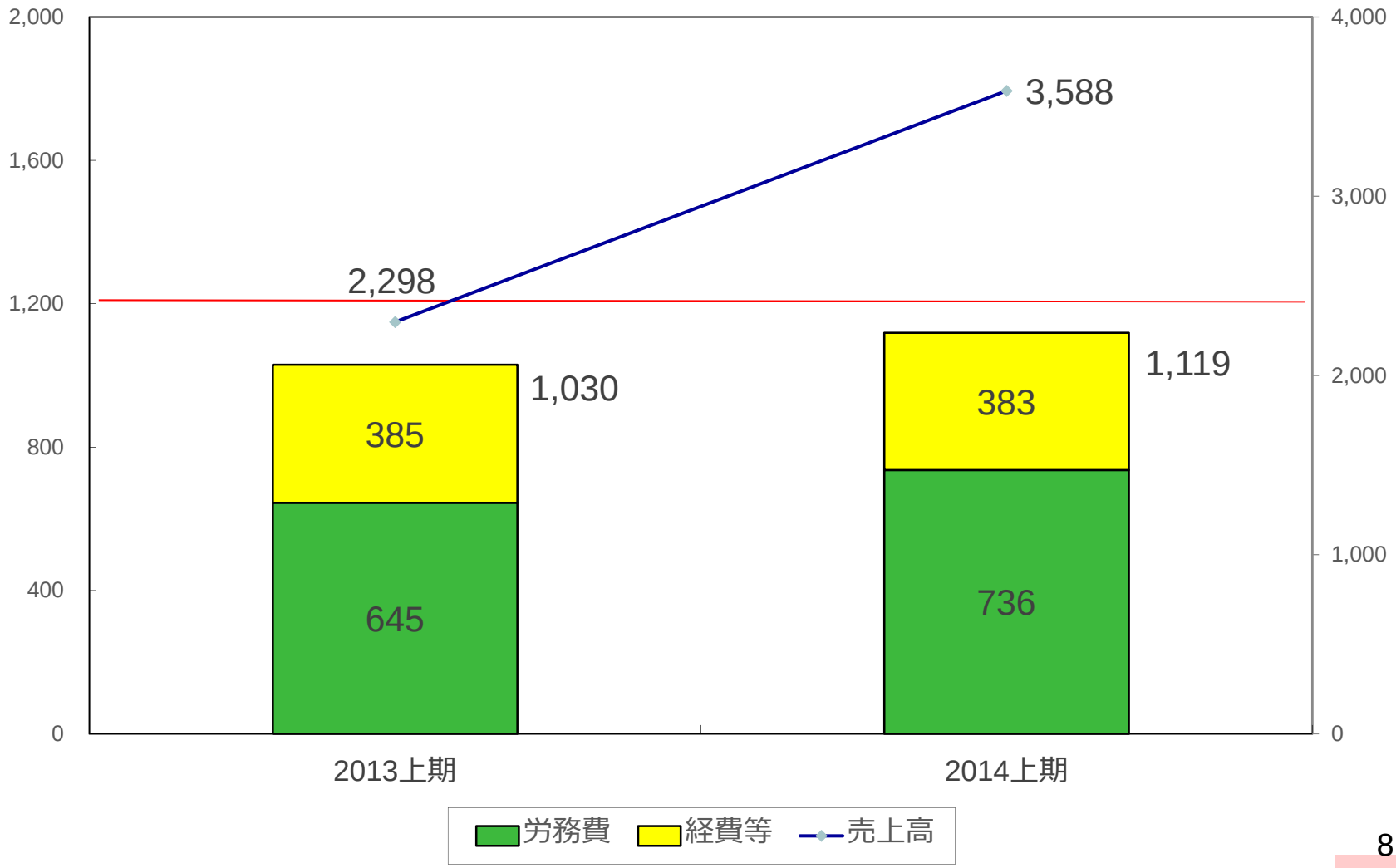
経常利益の増減要因分析

（単位：百万円）



固定費及び売上の推移（単体）

（単位：百万円）



貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2013期末	2014 2Q末	増減額	主な増減要因
資産合計	8,709	10,213	1,504	
流動資産	5,563	7,142	1,579	受取手形及び売掛金 1,277 現金及び預金 ▲301 仕掛品 595
固定資産	3,145	3,070	▲74	有形固定資産減価償却等 ▲57
負債合計	3,630	5,010	1,380	
流動負債	1,979	3,458	1,478	支払手形及び買掛金 945 短期借入金 350
固定負債	1,650	1,551	▲98	退職給付に係る負債 ▲88
純資産合計	5,078	5,203	124	

借入依存度 **13.8%**　　自己資本比率 **50.9%**　　固定比率 **59.0%**

キャッシュ･フロー計算書（連結）

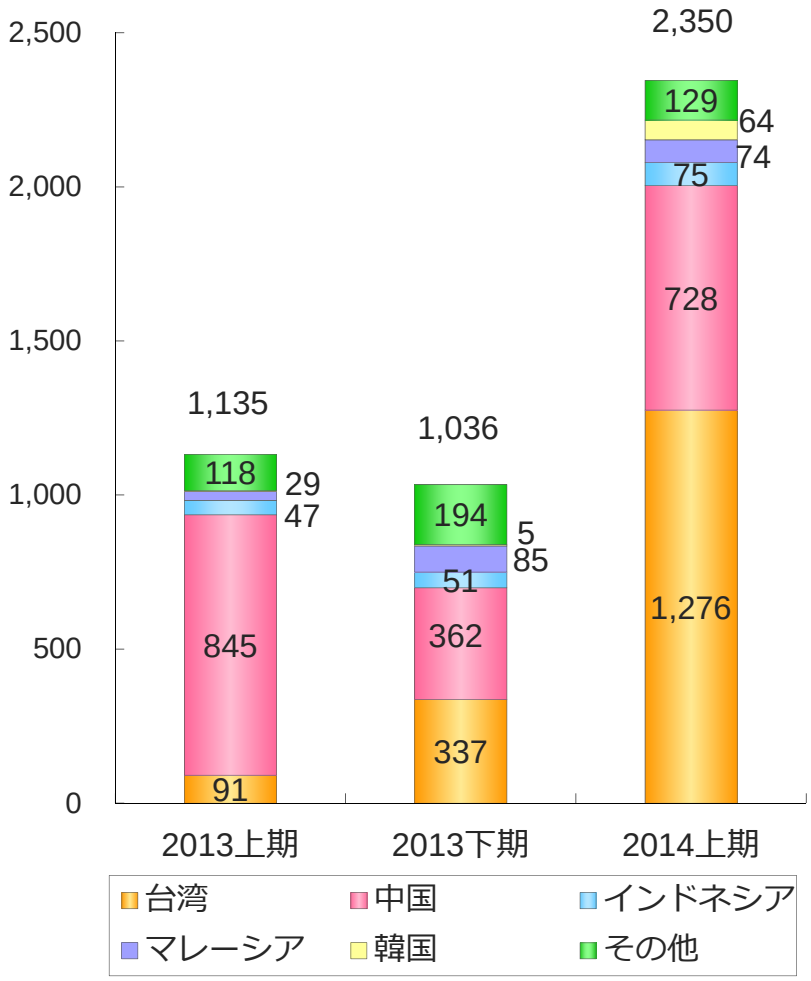
（単位：百万円）

	2013 2Q	2014 2Q	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	259	▲638	税金等調整前四半期純利益 68 売上債権の増加 ▲1,295 仕入債務の増加 975 たな卸資産の増加 ▲562
投資活動によるキャッシュフロー	▲0	▲2	
財務活動によるキャッシュフロー	▲3	345	短期借入金の純増額 350
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	▲7	
現金及び現金同等物の増減額	272	▲302	
現金及び現金同等物の期首残高	942	1,316	
現金及び現金同等物の期末残高	1,215	1,013	

輸出先国別売上高推移（単体）

（単位：百万円）

	2013 上期	2013 下期	2014 上期
台湾	91	337	1,276
中国	845	362	728
インドネシア	47	51	75
マレーシア	29	85	74
韓国	2	5	64
その他	118	194	129
合計	1,135	1,036	2,350
輸出割合	49.4%	42.6%	65.5%



上半期まとめ

① 原価低減推進等により 黒字化

② 水晶・電子デバイス業界の設備投資
依然慎重ながら変化の兆し見える

③ 光学装置は、アジア市場に営業推進
スマートフォン向けの設備投資は積極的

④ 既存技術応用分野への拡販推進
新規顧客からの受注獲得

業績の見通し及び今後の展望

2014年　下期外部環境

① 米国★個人消費、住宅市場など上向く

② 欧州★デフレによる経済失速懸念

③ 中国★成長率鈍化・不動産ﾊﾞﾌﾞﾙ懸念

④ 日本★円安で一部上向くも増税により回復鈍い

⑤ スマートフォン　12億台を世界で生産

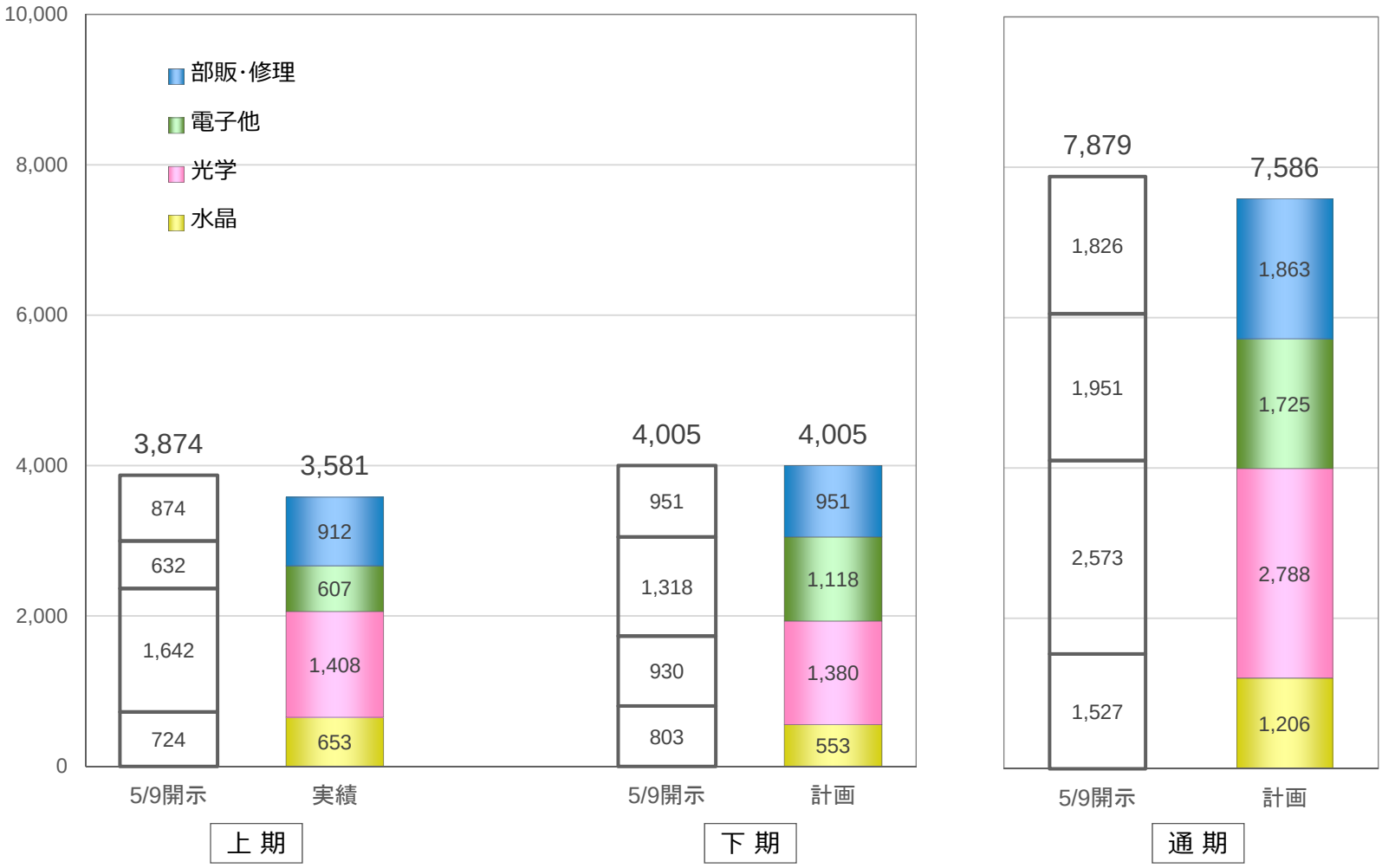
⑥ LED市場が拡大している

2014年度通期業績予想（連結）

（百万円）	2014年度 上期実績	2014年度 下期計画	2014年度 通期予想（11/11開示）	前回予想（5/9開示）	前年実績
売上高	3,581	4,005	**7,586**	7,879	4,868
営業利益	93	55	**148**	103	△541
経常利益	68	59	**128**	100	△447
当期純利益	68	50	**118**	79	△524

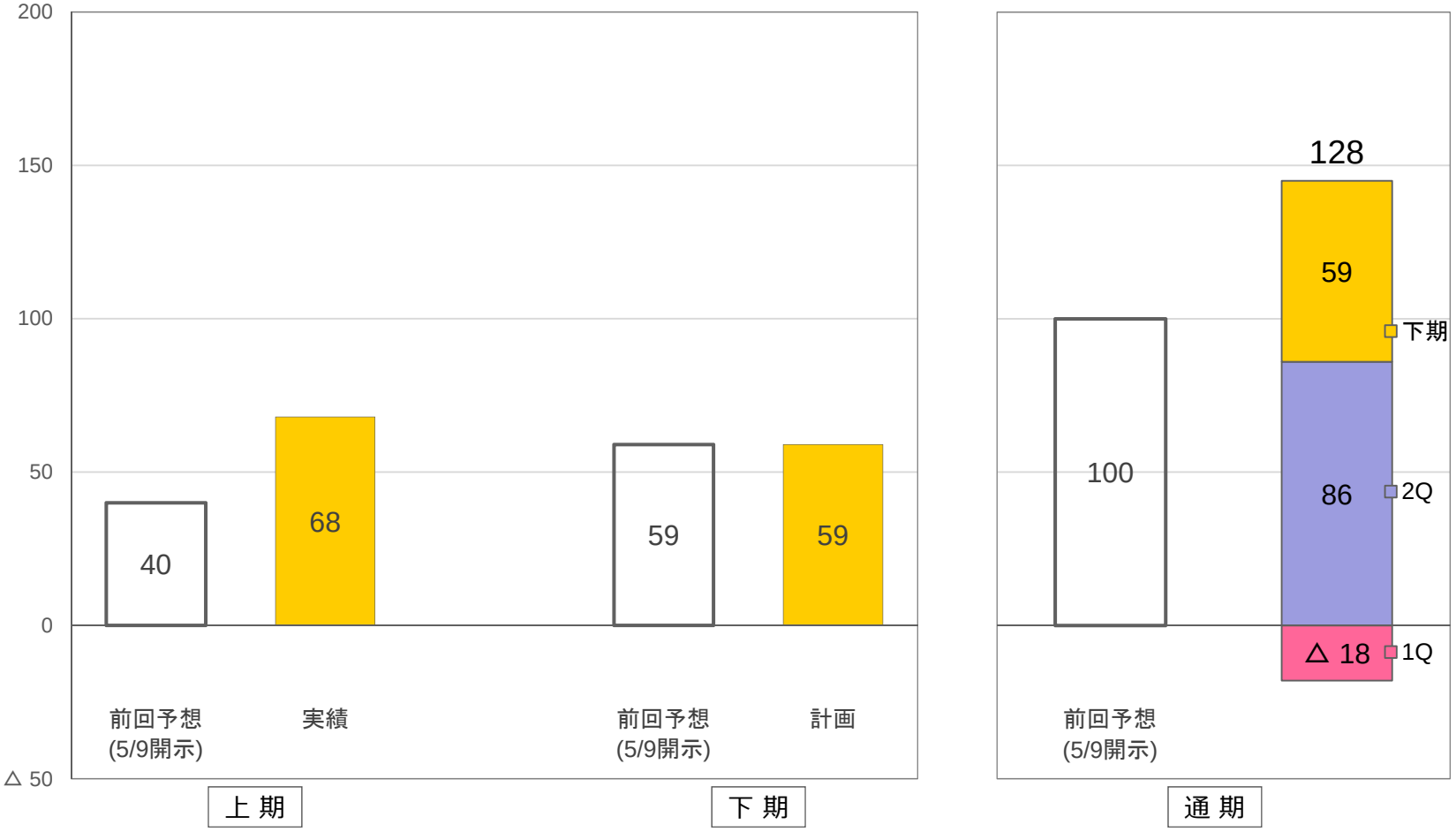
上期実績と通期予想（売上） *連結*

（単位：百万円）



上期実績と通期予想（経常利益）*連結*

（単位：百万円）



2014年度　下期施策

① 新製品の市場投入

② 既存技術応用分野への拡販

③ 中国のスマホ向部品メーカーへの拡販

④ コストダウンによる価格競争力の強化

⑤ さらなる製品品質向上への取り組み

《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。

株式会社 昭和真空
SHOWA SHINKU CO., LTD.